

## 東海第二発電所の状況説明会を開催しました

当社は、東海第二発電所の状況説明会を開催し、東海第二発電所の安全対策、また、昨年11月に行った運転期間延長認可申請について、発電所周辺にお住いの皆さまへご説明しました。ご参加いただきました皆さまにおかれましては、誠にありがとうございました。

今回は、本説明会の概要、皆さまからのご質問やアンケート結果などについてお知らせします。

### 状況説明会の概要

- 開催期間 平成30年2月3日(土)～3月4日(日)
- 開催市町村 東海村、日立市、ひたちなか市、那珂市、水戸市、常陸太田市、高萩市、笠間市、常陸大宮市、鉾田市、茨城町、大洗町、城里町、大子町、小美玉市
- 開催数(参加者数) 25回(延べ913名)
- 主な説明内容
  - ・東海第二発電所の安全対策について
  - ・東海第二発電所の運転期間延長認可申請について

### 状況説明会の様子

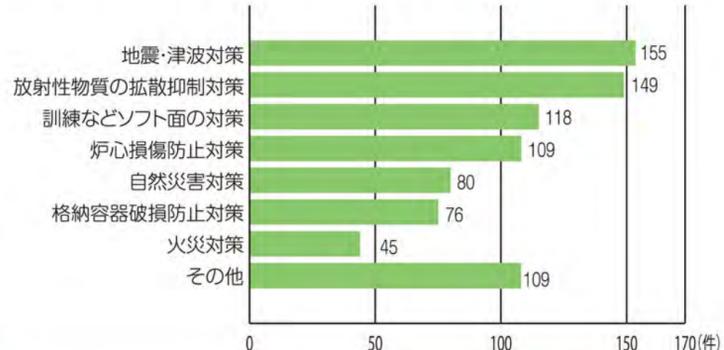
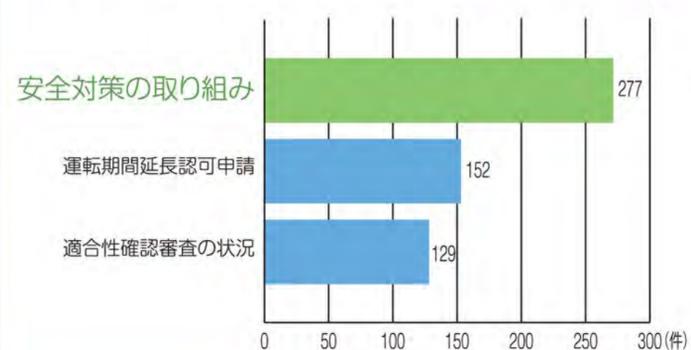


東海第二発電所の状況を説明しました



皆様からのご質問に回答しました

### 今後聞いてみたい項目(複数回答) → 「安全対策の取り組み」のうち聞いてみたい対策の内訳(複数回答)



### アンケート結果

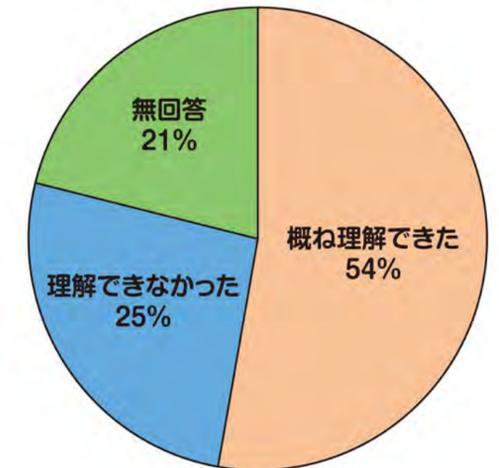
多数のご意見・ご質問、また、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。いただきましたご意見やご質問、アンケート結果を踏まえ、これからもわかり易く情報をお伝えできるよう努めていきます。

アンケート回答数:689名/913名

回答率:75%

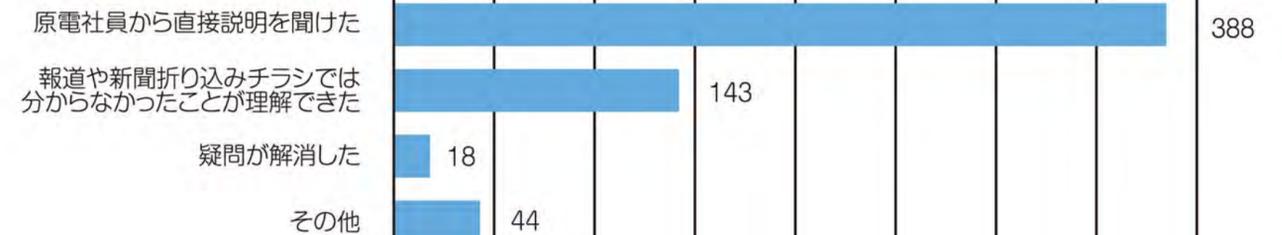


説明内容に対する感想

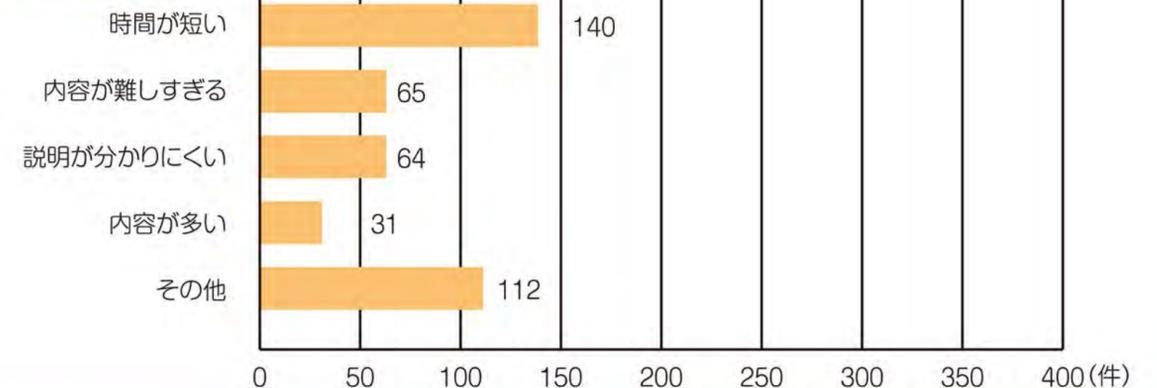


参加されてのご感想(複数回答)

#### 【良かった点】



#### 【良くなかった点】

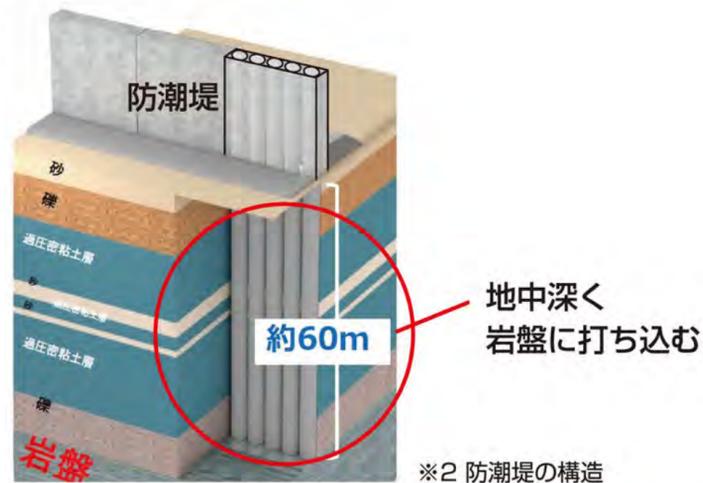


# 説明会において皆さまからいただいた主なご質問と当社からの回答

Q: 防潮堤を設置しても、防潮堤を超える津波が発生したらどうするのですか？

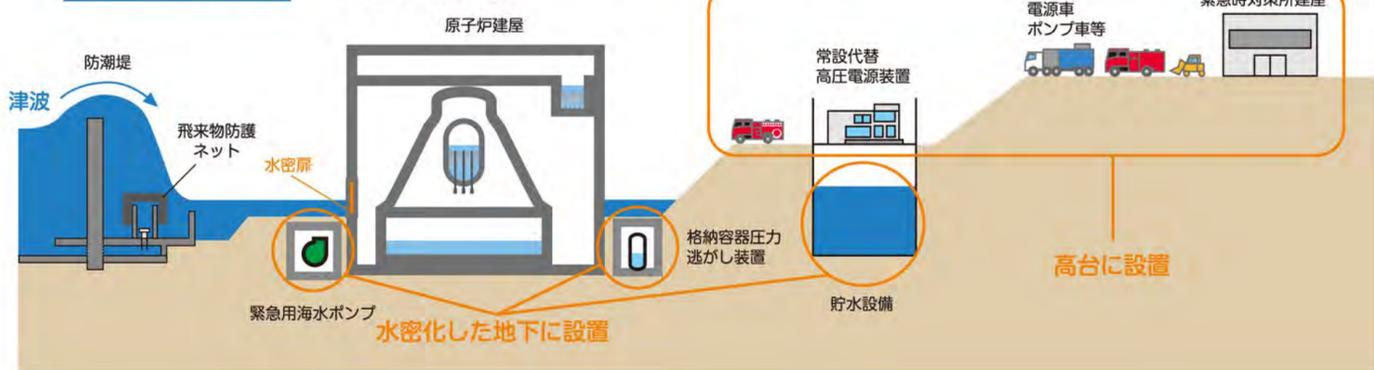
A: 防潮堤を超える津波が発生した場合にも備え、原子炉建屋や緊急用海水ポンプなどを水密化し、浸水を防ぎます。また、緊急時に使用する電源車やポンプ車、水源については、津波の影響を受けないよう、高台や水密化した地下に設置します※1。

なお、防潮堤は津波の力に対し十分な支持性能を有するよう、岩盤から防潮堤の上端まで杭（鋼管杭）を打ち、杭を包み込むように鉄筋コンクリートの壁をつくります※2。



※2 防潮堤の構造

**イメージ図** ※1 防潮堤を超える津波からの防護



Q: テロへの対策はどうなっていますか？

A: テロ対策については、新規制基準を踏まえ、様々な対策を講じていきます。具体的には、安全対策設備の同時破壊を防ぐために電源車等の分散配置を行います。また、万が一の航空機衝突等により原子炉建屋等の重要な建屋の破損が起きたことを想定して、放射性物質が放出・拡散した場合の影響を最小限に抑えるための対策も行います。

加えて、発電所立入者の本人確認や車両の出入における厳格な検査等、ソフト面の対策についてもしっかりと行っていきます。

Q: 自治体が策定している避難計画について、原電はどのようにかかわっているのですか？

A: 広域避難計画については、現在、各自治体において策定が進められています。広域避難計画の実効性確保や緊急時における対応については、内閣府の地域原子力防災協議会において確認されることとなっており、各種課題の解決に向けた検討が進められています。

当社は事業者として、広域避難計画の策定やその充実に向けた取り組みに対し、事業者として可能な範囲で協力を行っていきます。

Q: 設備について安全対策を講じてもそれを運用するのは人。発電所員はどのような訓練を行っているのですか？

A: 緊急時に対応する発電所員が対策用資機材を確実に扱えるよう、電源車から電源盤へのケーブル接続訓練や大容量ポンプ車を用いたタンクへの給水訓練、がれき撤去用重機の操作訓練などの各種訓練を、夜間・休日の発生も想定し、日々継続して行っています。また、災害時における総合的な対応能力の向上を図るため、定期的に原子力防災訓練を行っています。



ポンプ車を使った海水汲み上げ訓練



電源ケーブル接続訓練（夜間訓練）



フルスコープシミュレータによる運転操作訓練

Q: 運転期間延長認可申請を行いました。発電所の設備や機器の劣化状況に問題はないのですか？

A: 東海第二発電所では、これまでも定期的な検査で設備を健全に維持するとともに、運転開始後 30 年目の高経年化技術評価にて、その後 10 年間の設備の劣化状況を評価し、必要な対応により健全性を確保しています。具体的には、発電所のポンプ、モータ、弁、配管、電源盤など多くの機器を 15 種類に分類して、劣化事象（摩耗や絶縁低下等）を想定し、点検周期や点検メニューを基に、ひとつひとつ保守管理しており、その結果により、計画的に取り替え等を行っています。

今後 20 年間の健全性を確認するため、特別点検の実施、劣化状況の評価、保守管理方針の策定を行い、適合性確認審査の一環として、昨年11月、運転期間延長認可申請を行いました。現在、国の審査を受けているところです。

**【その他、皆さまからのご意見・ご質問】**

今回の説明会では、当社の新規制基準を踏まえた安全対策への取り組みを評価するご意見をいただいた一方で、東海第二発電所の今後の運営に関する事、安全対策費用に関する事、燃料有効長頂部位置データのくいちがいなどについて、たくさんのご質問や厳しいご意見をいただきました。

当社は引き続き、住民の皆さまへ丁寧に情報をお伝えできるよう努めていきます。

⇒説明会の様子等は、当社ホームページに順次掲載していきます。

<http://www.japc.co.jp/shinsei/tokai/tokai4.html>

**東海テラパークからのお知らせ**

東海テラパークでは、安全対策の状況や訓練の様子など、各種パネルやビデオでご紹介しています。



**【展示のご案内】**

- 「つるし雛展」(ギャラリー)
  - ・平成30年3月25日(日)迄
  - ・9時～16時30分(最終日は13時迄)

子や孫の健やかな成長を願うつるし雛。東海テラパークでは、「つるし雛展」を3月25日まで開催しています。華やかに飾り付けられた雛形をお楽しみください。また、ミニギャラリー(テラパーク玄関前)では、季節に合わせ様々な展示を行っています。皆さまのご来館をお待ちしています。



・所在地 那珂郡東海村白方1-1 ・電話 029-287-1252 ・開館時間 9時～16時30分 ・入館料 無料  
 ・休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)および年末年始(12/29～1/3)

お問い合わせ先  
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社 東海事業本部

地域共生部  
茨城事務所

茨城県那珂郡東海村白方1-1  
茨城県水戸市笠原町978-25

TEL:029-287-1250  
TEL:029-301-1511

当社ホームページ    
<http://www.japc.co.jp/>